

完成イメージ

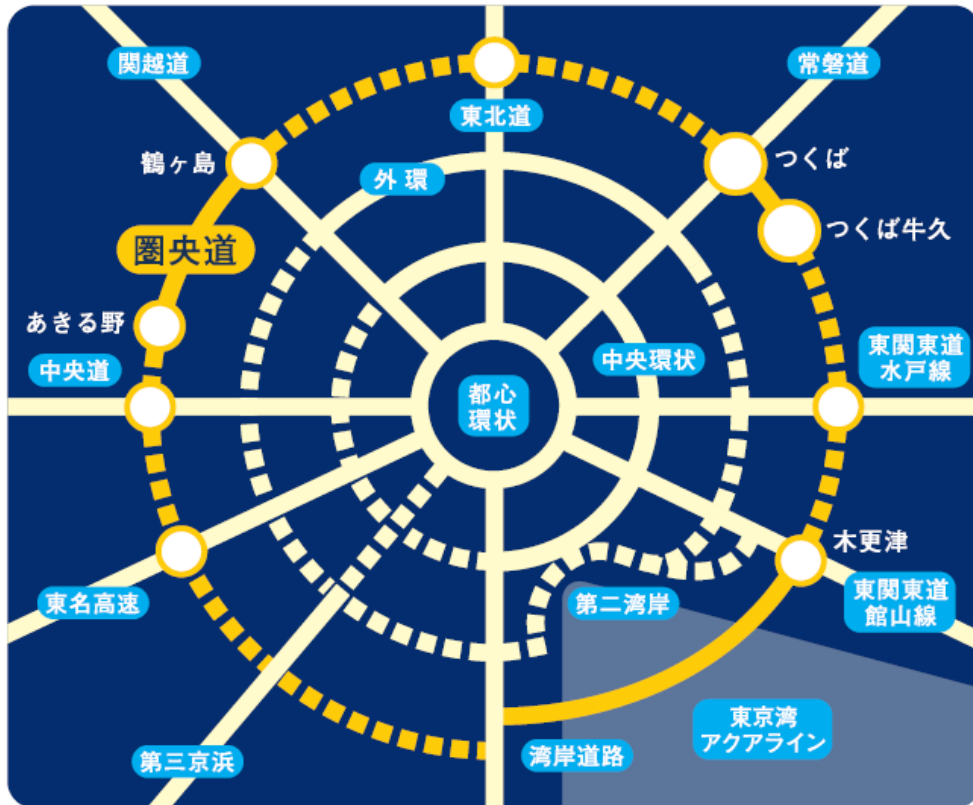


工事概要

作業イメージ	作業内容
<p><b>ステップ1</b> (H17.10 - H18.5.末)</p> <p>軌条橋台の組立 送り出し桁の架設</p>	<p>夜間架設の事前作業です。 作業台を構築して、その上で、橋桁や送り出し架設用の手続ベ桁を組立ってます。</p>
<p><b>ステップ2</b> 通行止1日目 終了時</p> <p>1日目送り出 106.2m</p>	<p>1 夜間目 (20:00 ~ 翌6:00 10時間) 最大で約106mの橋桁を送出しします。</p>
<p><b>ステップ3</b> 通行止2日目 終了時</p> <p>2日目送り出 53.9m</p>	<p>2 夜間目 (21:00 ~ 翌5:00 8時間) 最大で約54mの橋桁を送出しします。</p>
<p><b>ステップ4</b> 通行止3日目</p> <p>送り出し桁降下(約1.5m)</p>	<p>3 夜間目 (21:00 ~ 翌5:00 8時間) 橋桁を1.5m降下させます。</p>

## 首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の概要

中央環状、外環を含めた首都圏3環状の一翼を担う圏央道（首都圏中央連絡自動車道）は、都心から半径40～60kmの位置に計画されている総延長約300kmの自動車専用道路です。東名高速、中央道、関越道、東関東道など都心から放射状に延びる幹線道路や、東京湾アクアラインとつながり、首都圏の広域幹線道路網を形成します。圏央道は、首都圏の道路交通の流れをスムーズにし、経済の活性化や快適な暮らしづくりに役立つ重要な幹線道路として、今後約10年で圏央道全体を完成させます。



### 交通の流れをスムーズに。圏央道の4つの機能

- 1 分散導入機能**  
 渋滞のない道を選んで通ることができます。
- 2 バイパス機能**  
 都心を通過するだけの車が減って、渋滞が少なくなります。
- 3 地域間移動機能**  
 遠くのマチとの行き来がスムーズになります。
- 4 災害時などの迂回機能**  
 事故や災害の時、ほかの道路に迂回ができます。